

至誠清新ニュースレター

(2016年3月9日第10号)

「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議（第6回）議事録」の公表

2016年3月7日に金融庁より首題の議事録が公表された。

今回の会議では「会社の持続的成長と中長期的な企業価値に向上に向けた取締役会のあり方」と題した本会議の意見書(案)の取りまとめが行われた。

同意見書(案)は、「実効」的なコーポレートガバナンスを実現していくうえで、現時点で重要と考えられる視点を示すものとして

1. 最高経営責任者(CEO)の選解任のあり方
2. 取締役会の構成
3. 取締役会の運営
4. 取締役会の実効性の評価

について取り組みの例も含めてまとめられている。

また、同会議では「スチュワードシップ・コード受け入れ機関の取り組み方針・活動内容の公表状況」の説明がなされ、「企業と機関投資家の間の建設的な対話」というテーマで企業、機関投資家、アセット・オーナーなどを含めたインベストメントチェーン全体をいかに運用していくべきかについて議論がされた。

(引用URL)

金融庁

<http://www.fsa.go.jp/singi/follow-up/gjjiroku/20160218.html>

「会計監査の信頼性確保のために」の公表

2016年3月8日に金融庁の会計監査の在り方に関する懇談会より首題の提言が公表された。

同提言では、会計監査の信頼性確保のための取り組みとして

1. 監査法人のマネジメントの強化
2. 会計監査に関する情報の株主等への提供充実
3. 企業不正を見抜く力の向上
4. 「第三者の目」による会計監査の品質のチェック
5. 高品質な会計監査を実施するための環境の整備

のそれぞれの項目で提言がされている。

(引用URL)

金融庁

<http://www.fsa.go.jp/news/27/singi/20160308-1.html>